

# ピア・サポートを始めよう！

困っている子をほっておかない子どもを育てませんか？みんなで力をあわせれば、よい方向に動くという社会への信頼感を育てませんか？ピア・サポートという手法を活用して、そういった子どもたちを育てましょう。

ピア・サポートは“**仲間が仲間をサポートする**”活動です。仲間の存在が子どもたちに大きな影響を与えるという事実から、よりよく仲間をサポートできる力を育成するものです。

## 体験不足を補う

(エネルギー補給)

### 練習

心を通い合わせるエクササイズ  
協同する力を高める練習  
話の聞き方の練習  
課題を解決する練習 等

活動を次の活動へとつなげていく視点が重要です。よかった点を共有し、課題を仲間と共に解決する学習の機会に位置づけます。

### 体験に意味づけを行う

### 振り返り

<キーワード>

つながり・絆  
おもいやり  
向社会的行動  
ルール・マナー  
協同的課題解決  
自己効力感  
自己重要感

### 計画

### 前向きな姿勢を作る

みんなで行うサポート活動であっても、一人一人が目標を持つことが大切です。この目標がサポート活動はもちろんのこと、振り返りに力を発揮します。

### サポート活動

〇〇お助け隊  
学習のサポート  
友だちづくりのサポート  
交流活動 等

今ある学校行事や活動にピアの精神と取組み方を活かして実施しましょう。

## 失敗ありの他者貢献

## にチャレンジ

### ピアな職場

先生方にとって、**病気であっても行きたい学校**ってどんな学校ですか？

授業のこと、子ども理解や保護者対応、仕事のこと、また、私生活も含めて、身近に相談にのってくれたり、仕事を気持ちよく手伝ってくれたりする、また、心から笑える温かな職場ではないでしょうか。子どもたちがピア・サポートを学ぶのも、そうした病気であっても行きたい温かな学級をつくる人材に育ってもらうことも期待しています。教職員のみなさんも、子どもたちと共に、ピアな職場づくりに取り組んでいきませんか？

### ピア・サポートの指導者は・・・

個を大切にしつつ、子どもどうしの相互作用をうまく活用した協同学習です。指導者は子どもたちが共に学び合う関係を促進する力が求められます。

たとえば、指示の出し方、子どもの表情や変化を察知する力、察知したことを伝え返す力、子どものやる気を引き出す力、ルールやマナーを習慣化する力、課題を解決する力、こうしたファシリテーターとしての力量を高めることは、教師の指導力の向上そのものです。

